

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.38

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国際・国内交流推進事業	担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		国際・国内交流			終期	未定 <input type="text" value=""/>
施策	3	国際・国内交流の推進				
基本事業	1	交流のひとづくり				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化を目指す。		事業内容(R1)	①ドイツ姉妹都市リュネブルク市との交流 ・第23回鳴門市一般親善使節団を派遣し、両市民の交流の場を創出する。 ・第23回鳴門市青少年親善使節団を派遣し、次世代を担う人材育成を図る。 ②中国友好都市との交流 張家界市からの訪問団を受け入れるなど相互交流事業を推進し、友好親善を深める。 ③国内親善都市会津若松市との交流 ・親善交流都市盟約締結20周年記念使節団の派遣。 ・会津若松市市制施行120周年式典へ出席。 ④その他国外・国内都市との交流				
実施方針	①ドイツ姉妹都市リュネブルク市との交流を図る ②中国友好都市との交流を図る ③国内親善都市会津若松市との交流を図る ④その他国外・国内都市との交流を推進する			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	親善使節団参加者数 リュ市/鳴門市	32	54	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数 リュ市/鳴門市	12	11	12	12	12	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	使節団新規参加者の割合 リュ市/鳴門市		66	54	60	60	60	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①第22回鳴門市姉妹都市親善使節団の派遣 ②張家界市の相互訪問 ③会津若松市の相互訪問	①第22回リュネブルク市親善使節団の受入れ ②張家界市訪問団受入 ③会津若松市の相互訪問	①第23回鳴門市親善使節団の派遣 ②張家界市訪問団の受入(未定) ③会津若松市への市民団の派遣	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	10,161	0	10,161	3,969	3,969

事務事業名	国際・国内交流推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 ・第24回鳴門市姉妹都市親善使節団として、一般使節団員24名を10日間、青少年使節団員12名を8日間派遣し、両市民の友好交流を深め、次世代の国際交流を担う人材育成を図った。 ②中国友好都市との交流 新型コロナウイルス感染拡大により、張家界市から医療物資の支援要請を受け、医療用使い捨てゴム手袋を20,000枚、マスク2,000枚を送付した。 ③国内親善都市会津若松市との交流 親善交流都市提携20周年記念使節団18名が会津若松市を訪れ、記念調印式及び会津まつり等に参加した。 ④その他国外・国内都市との交流
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	54	38	35	35	35	人
	2 使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	11	12	12	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	54	58	60	60	60	%
	目標達成率(実績/目標)		96.7				%

事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
			計	2,715,037	0	9,331,955
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	300,000	0	1,400,000	0	1,400,000
	一般財源	2,415,037	0	7,931,955	0	7,931,955

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リュ市／鳴門市		成果指標に対する所見	リューネブルク市に派遣した使節団員の内、約6割が新規参加者であった。初参加の方は、帰国後も国際交流に対する高い意識を持ち、親善交流に積極的に取り組んでいる。また、帰国した青少年からは外国語学習への強い意欲が示された。		
	目標	60	%				
	実績	58	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・親善使節団の青少年応募者が年々増えているが、現状では、書類及び面接試験を経て合格した12名が、市の補助金(旅費の半額程度)を受けて参加している状況である。ドイツ側との受け入れ可能枠の調整や、補助金の予算を考慮した上で、青少年の派遣枠を増やし、未来の国際交流を担う人材育成に積極的に取り組む必要がある。 ・張家界市との更なる交流を図るため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取り組みが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	第23回リューネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。青少年参加者については、市民の中学校・高校での授業参加や同学校に通う生徒宅でホームステイを行い、未永い交流の友情を築く機会を創出する。国政情勢や新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好関係の増進を図る。
	令和3年度	第24回鳴門市親善使節団を派遣し、リューネブルク市民との交流を深める。青少年の派遣も継続して行うが、派遣枠を増やし、より多くの希望者が参加できるよう拡充を行う。引き続き、交流事業等を通じ、張家界市との交流を図ることで、友好関係の増進を図る。